

〈今月の紙面〉

- ・「食料・農業 知っておきたい話」-137- (2面)
- ・「地域計画」で農地の10年後を展望 (3面)
- ・来年もまた笑顔で―栃木開拓 畜産家族親睦会 (4面)
- ・農場拝見 齋藤牧場(岩手) (5面)
- ・乳牛のサンパエ対策―幼虫生息場所の清掃が大事 (6面)
- ・交雑種、堆肥化時の温室効果ガス半減 (7面)
- ・畜産物需給見通し (8面)

開拓情報

発行所
 公益社団法人全国開拓振興協会
 〒102-0093 東京都千代田区平河町1-2-10
 TEL 03-6268-9995
 FAX 03-6268-9996
 ホームページ <https://www.kaitakusya.or.jp>
 全日本開拓者連盟・全開連・全国開拓振興協会共同編集

北海道チクレン50周年 チクレンミート40周年 祝賀会



新津会長の挨拶

北海道チクレン農業協同組合連合会(以下、チクレン)が創立50周年、チクレンミート(株)が創立40周年をそれぞれ祝賀会を開催した。

82年、消費者と生産者を直接つなぐ架け橋としてチクレンミートが設立され、現在は、と畜場が

1973年に前身の北海道開拓農業協同組合連合会が解散した後、翌74年に畜産専門の連合会として、北海道畜産農業協同組合連合会(75年にチクレンに名称変更)が設立された。

チクレンミート50周年を目前に、たゆまぬ精進を積み上げてまいりま

を迎え、8月26日、新さっぽろアークシティホテルにおいて、合同で記念祝賀会を開催した。

来賓、役員総勢50余名が出席し、それぞれの周年を祝った。

1973年に前身の北海道開拓農業協同組合連合会が解散した後、翌74年に畜産専門の連合会として、北海道畜産農業協同組合連合会(75年にチクレンに名称変更)が設立された。

チクレンミート50周年を目前に、たゆまぬ精進を積み上げてまいりま

25年度農林水産関係予算要求の主な事項 ()は前年度	
1. 食料安全保障の強化	
・水田活用の直接支払交付金等 水田での戦略作物の自作化・畑地化、麦・大豆の作付拡大など	3,015億円 (3,015億円)
・持続的生産強化対策事業 野菜、果樹、花き、茶・薬用作物、養蜂等の生産基盤の強化	166億円 (148億円)
・合理的な価格の形成 コスト指標の作成・検証、取引実態調査、消費者等理解醸成	4億円 (0.3億円)
2. 農業の持続的な発展	
・地域計画実現総合対策 地域計画を核として、現場の状況に応じた事業を総合的に実施	482億円 ()
・新規就農者育成総合対策 新規就農者の育成・確保、雇用労働環境の整備	149億円 (96億円)
・スマート農業技術活用促進集中支援プログラム スマート農業技術の社会実装の加速化を強力に推進	410億円 ()
3. 農村の振興(農村の活性化)	
・農山漁村振興交付金 官民共創、農泊・農福連携、中山間地域等の農用地保全の推進	104億円 (84億円)
4. みどりの食料システム戦略による環境負荷低減に向けた取組強化	
・環境保全型農業直接支払交付金 地球温暖化防止や生物多様性等に効果の高い営農活動への支援	31億円 (26億円)
・みどりの食料システム戦略推進総合対策 有機農産物の生産・需要拡大、環境負荷低減を支援する新制度構築への調査	35億円 (7億円)
5. 多面的機能の発揮	
・多面的機能支払交付金 地域資源を適切に保全管理するための共同活動への支援	512億円 (486億円)
・中山間地域等直接支払交付金 中山間地域等での農業生産活動継続への支援	301億円 (261億円)

改正基本法を踏まえて16%増

農水省は8月30日、25年度農林水産関係予算の概算要求を財務省に提出した。総額は2兆6389億円で、24年度当初予算を16%上回る。改正食料・農業・農村基本法を踏まえ、初動の5年間で施策(▽食料安全保障の強化▽農業の持続的な発展など)を集中的に実行するため、増額を求めた。

改正基本法が成立してから初めての予算要求であり、これからの日本農業の持続可能な成長を推進する上で、非常に重要な予算となる。

重要事項として、①食料安全保障の強化②農業の持続的な発展③農村の振興―などの7項目とした。()内は24年度当初予算額。

①食料安全保障の強化
水田での戦略作物の自作化・畑地化、麦・大豆の作付け拡大などに、前年と同額の3015億円。農産物の合理的な価格形成に向けたコスト構造等に関する調査や、消費者等理解醸成に4億円(0.3億円)など。

②農業の持続的な発展
本年度末を達成期限と

③農村の振興
官民共創、農泊・農福連携などの地域資源を活用した付加価値の創出、中山間地域等の農用地保全の推進に104億円(84億円)など。

④みどりの食料システム戦略による環境負荷低減に向けた取組強化
有機農業について単収が低く不安定な移行期を重点的に支援する、環境保全型農業直接支払交付金31億円(26億円)など。(畜産・酪農の概要は2面掲載)



今年度は鳥根県で開催

全国開拓青年・女性研修会

11月19日～21日

今年度の全国開拓青年・女性研修会は、全日県下で開催される。本開拓者連盟・全開連・1日目は、松江市の「松江エクスセルホテル東急」中央三団体共催で、11月に集合し、全国開拓振興協会の講演会事業「日本の農業」に参加する。2日目は、松江市の「松江エクスセルホテル東急」に宿泊し、講演会と演題は、農民運動全国連合会会長の長谷川敏郎氏が



「白米千枚田」能登半島地震からの復興物語

世界農業遺産「能登の里山里海」を守る

能登半島地震から約8カ月が経った、石川県輪島市の「白米千枚田」(8月19日)日本海に面した4haの斜面に1004枚の水田が広がる棚田で、世界農業遺産として登録された「能登の里山里海」の一翼を担ってきた。

能登半島地震で、田んぼの約8割に亀裂が入ったり、水路が壊れたりしたが、地元の「白米千枚田愛護会」を中心に修復が続けられ、5月18日にボランティア約30人と共に、比較的被害の少なかった約120枚(写真右下)の田植えが行われた。今後も少しずつ修繕を重ね、能登の原風景を復興していく。

「食と農の危機打開はアグロエコロジー」と題して、また、東京大学大学院教授の鈴木宣弘氏が「農は国の本なりく地域と食と命を守る」と題してそれぞれ講演する。3日目は朝食後解散。問い合わせは当協会まで。

本紙は無償で提供しています。ご希望の方はお知らせ下さい。



来島牧場の新しいロータリーパーラー